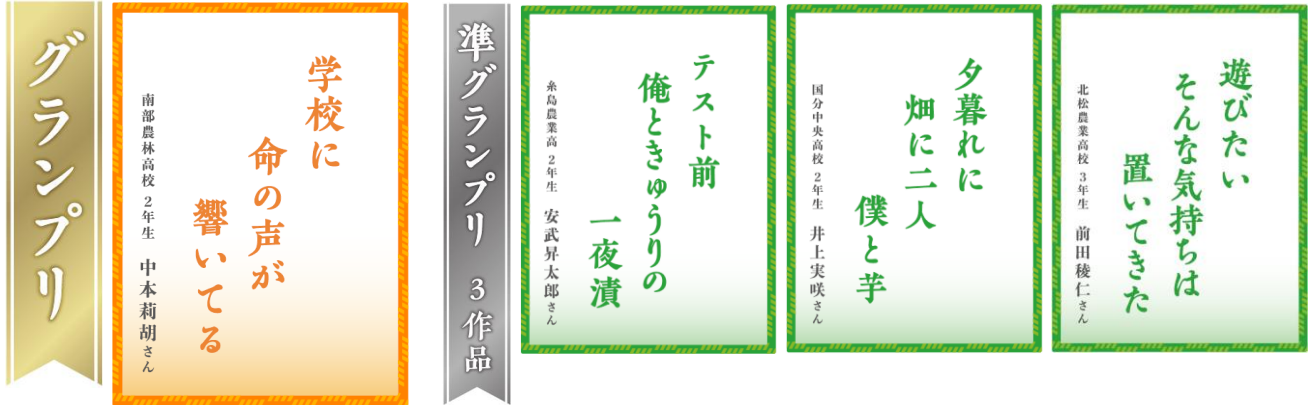


九州の農業高校生6,794人が詠んだ農業川柳、受賞した25作品を一挙紹介！

## グランプリは沖縄の女子高生が詠んだ 「学校に 命の声 が 響いてる」



株式会社オーレックホールディングス(所在地：福岡県八女郡、代表取締役社長：今村健二)は、2023年6月1日から7月14日にかけて、九州の農業高校生を対象とした「九州農高川柳コンテスト」を開催しました。第6回目となる今年は「わたしと農業」をテーマに作品を募集。九州各県の農業高校44校、生徒6,794名(応募は1人1句)から応募がありました。川柳作家・お鶴(おつう)氏選出のもと、グランプリ1句、準グランプリ3句、優勝賞13句、佳作8句、学校賞1校を選出。結果は9月3日「草の日」に弊社ウェブサイトにて発表しました。

グランプリに輝いたのは、沖縄県・南部農林高校の2年生、中本莉胡さんの作品です。「命の声」という言葉の中に、先生や生徒といった人のみならず、農業高校で育てている家畜や作物も含まれており、それらを上手に表現している点が高く評価されました。審査員の合議により選出される「学校賞」にも同じく南部農林高校が選ばれました。同高校には、弊社製品1点を贈呈します。

### ■川柳コンテスト概要

- テーマ : わたしと農業
- 募集期間 : 2023年6月1日～7月14日
- 応募総数 : 6,794句
- 結果発表日 : 9月3日(日) 5:00 弊社ホームページにて (<https://www.orec-jp.com/senryucontest2023/>)
- 表彰 : グランプリ1句/準グランプリ3句/優秀賞13句/学校賞1校/佳作8句
- 主催 : 株式会社オーレックホールディングス、株式会社毎日新聞社
- 協力 : 全国農業高等学校長協会九州支部

### ■グランプリを受賞した生徒のコメント ※取材可能です



沖縄県 南部農林高校 食品加工科 2年生  
中本 莉胡 (なかもと・りこ) さん

普段はクッキーやケーキの製造実習など、将来パティシエになるための勉強をしています。  
1年生のころには農業実習があり、スイカや大根を種から育て収穫しました。その時に周囲から学校で育てている牛の声や、生徒の声が聞こえてきたことをふと思い出し、この川柳を詠みました。まさか自分がグランプリを取るとは思わなかったもので、受賞にはとても驚きましたが嬉しかったです。

■その他、入賞作品を一挙ご紹介

優秀賞  
13 作品

<p>小林秀峰高校 2 年生 原口遙飛さん</p> <p>畝づくり 性格出てる 曲がってる</p>	<p>嘉穂総合高校 2 年生 芳中裕一郎さん</p> <p>製パンも 恋もてこずる 農業生</p>	<p>都城農業高校 1 年生 山本泉愛さん</p> <p>花が咲き やさしい言葉 よく育つ</p>	<p>小林秀峰高校 1 年生 沢田峻太さん</p> <p>愛情の 答え合わせは 真つ赤な実</p>	<p>田川科学技術高校 3 年生 中園愛純さん</p> <p>靴から ネギが顔出す 帰り道</p>
<p>八女農業高校 1 年生 中島茉音さん</p> <p>祖母の手は 私が目指す 未来の手</p>	<p>宮古総合実業高校 3 年生 宮國愛さん</p> <p>草刈り後 ふるえ残る手 香る夏</p>	<p>宮古総合実業高校 1 年生 前泊穂乃楓さん</p> <p>ピーマンは 好きになれない ままごめん</p>	<p>諫早農業高校 2 年生 吉岡海音さん</p> <p>実習後 前髪はもう どうでもいい</p>	<p>都城農業高校 2 年生 福重風央さん</p> <p>日差し増し 米は育つが 我は死す</p>
<p>八重山農林高校 1 年生 興儀清我さん</p> <p>失礼します あなたの卵 いただきます</p>	<p>糸島農業高校 2 年生 島田涉稀さん</p> <p>ヒヤシンス ぼくの未来も 澄んでいる</p>	<p>種子島高校 3 年生 下村萌衣さん</p> <p>収穫を しているすきに つまみ食い</p>		

佳作  
8 作品

<p>諫早農業高校 3 年生 小林奏柊さん</p> <p>育てたい 水も滴る いい野菜</p>	<p>唐津南高校 2 年生 吉川海流さん</p> <p>エサ食べて 鳴くヒナを見て 俺が泣く</p>	<p>八女農業高校 2 年生 田中大地さん</p> <p>「どんだけー」 つい声が出た 収穫期</p>	<p>八女農業高校 2 年生 入部尊悟さん</p> <p>お花屋さん 目に浮かぶのは 苦しい作業</p>
<p>菊池農業高校 2 年生 中村咲輝さん</p> <p>作物が 愛せ初めて 人愛す</p>	<p>宮古総合実業高校 3 年生 下地理葉さん</p> <p>昼休み 恋よりセリ の討論会</p>	<p>都城農業高校 3 年生 吉田怜央さん</p> <p>母の「もー」 それより聞いた 牛の「もー」</p>	<p>日出総合高校 3 年生 瓜生一真さん</p> <p>ゆるさない ばあちゃん の米 盗むやつ</p>

入賞した全25作品はウェブサイトでもご覧いただけます  
⇒ <https://www.orec-jp.com/senryucontest2023/>



## ■開催経緯

本コンテストは、次世代の農業を担う生徒たちの活動を応援し、より多くの方に「農」の魅力を知っていただくことを目的としています。当社の創業70周年と9月3日「草の日」を記念し、2018年から開催。毎年5,000名以上の農業高校生が参加しています。

## ■選者紹介・お鶴(おつう)氏



浮世川柳作家。愛媛県松山市生まれ、福岡県北九州市育ち。句会「セブンティーン」主宰。各種川柳コンテストで多数の賞を受賞。毎日新聞の人気川柳コーナー「仲畑流万能川柳」の常連作家として知られるほか、福岡のテレビ、ラジオで川柳コーナーを担当。

## ■9月3日「草の日」とは

草は土の中で生きる微生物の栄養となったり、土をふかふかにしたりなど、様々な役割を果たします。草の日とは、この草の役割の重要性を多くの方に知ってもらうことを目的に、2016年にオーレックが日本記念日協会に登録した記念日です。

## ■会社概要

- ・社名 : 株式会社オーレックホールディングス
- ・創業 : 1948年（昭和23年）10月 ※創業は(株)オーレック
- ・代表取締役社長 : 今村健二
- ・グループ主要事業 : 緑地管理機/農業機械製造販売など
- ・WEB : <https://www.orec.holdings/>
- ・関連会社 : (株)オーレック、(株)オーレックR&D、Orec America, Inc.

### ▼掲載/取材に関するお問合せ▼

株式会社オーレックホールディングス  
担当：南立（なんだて）

電話：0943-32-5072 / メール：kouhou@orec.co.jp